

令和2年度  
第3回 苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会議録

令和2年11月19日（木）

午後6時30分

リサイクルプラザ苫小牧 2階会議室

## 会 議 次 第

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 部長挨拶

### 4 議 題

#### (1) 報告事項

##### ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

①「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過について 【資料 1-1】

②「米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」  
に関する報告について 【資料 1-2】

③米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について 【資料 1-3】

④沖縄県の負担軽減調査結果について 【資料 1-4】

##### イ 航空機事故関連について

①令和2年度（上期）航空機の部品落下事案について 【資料 2】

ウ 令和2年度要望活動結果について 【資料 3】

#### (2) 協議事項

ア 令和2・3年度再編関連訓練移転等交付金事業について 【資料 4】

### 5 その他

○ 協議会委員 ※敬称略

出席者 (13名)

会 長	丹羽 秀則	委 員	広瀬 悦雄	委 員	星野 岳夫
委 員	丹治 秀一	〃	永谷 俊文	〃	三海 幸彦
〃	丹治 秀寛	〃	山端 豊城	〃	牧田 俊之
〃	小倉 巖	〃	佐野 輝幸	〃	松永 博明
〃	越川 慶一				

---

欠席者 (5名)

副会長	丹治 敏男	委 員	松重 茂雄	〃	竹田 秀泰
〃	星野 邦夫	〃	米谷 一夫		

---

○ 事務局 出席者 (11名)

総合政策部	部長	木村 淳	環境衛生部	部長	町田 雅人
まちづくり推進室	室長	柴田 健太郎	〃	次長	鈴木 正毅
空港政策課	課長	伊藤 貴文	環境保全課	課長	深山 満展
空港政策課	主査	銅 真	〃	課長補佐	斎藤 和之
〃	主査	蠣崎 絵美	〃	主査	干谷 洋平
〃	主査	込山 寿明			

## 令和2年度 第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会 会議録

### 1 開会

#### ◇事務局

皆様、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

定刻となりましたので、只今から令和2年度第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催いたします。

私は、事務局を担当しております空港政策課の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、協議会を代表いたしまして、丹羽会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

### 2 会長挨拶

#### ◆会長

皆様、お晩でございます。この天気がよろしくない中、よくいらして下さいました。ありがとうございます。

前回申し上げましたように、春には、書面決議を行ったわけですが、今回はコロナが大分薄れたと思っていたのですが、ここでまた自粛ということで、4人以下で会食を下さい、不要・不急の外出はしないで下さいと、いつまで続くのでしょうかね。

ただ、ワクチンがそろそろできているようですから、それが効けば、大分明るくなるのではないかと願っているところでございます。今年も残りひと月少しとなりました。

先月の19日に、新千歳空港事務所、第2航空団、北海道防衛局に行つてまいりました。星野副会長と事務局とでわずか6名で行つてまいりました。

新千歳空港事務所は毎年行っているわけですが、今年は4月から民間委託しました北海道エアポート株式会社もいらしてございまして、新千歳空港事務所の所長、北海道エアポート株式会社の方は初めてでございますけれども、真剣に話を聞いていただきました。

内容は皆さんご存じのように、毎年同じような内容でございますけれども、対応して下さる方は代わるのでありますから、同じ内容でも念を押してお願ひしています。そして歴史をお話しして、我々がいかに、新千歳空港とともに歩んできたということを理解していただくという機会にしているところでございます。

北海道エアポート株式会社も非常に大変で、報道では国に支払わなければならない24億円を棚上げして来年まで繰り越すというような内容も出ておりますし、取締役も報酬カットという流れで致し方ない状況です。

ただ、以前から民間委託される際に、今までいただきました空整協と同じように助成事業を一貫しておりますから、それらの地域に対する振興策、これらも継続してやっていただくということで、もう始まっているところでございます。そういうことで有効利用して、ともに歩んでいきたいということをお話ししてまいりました。

第2航空団は、こちらもまた同じ内容でお願いしているわけですが、自衛隊の存続そのものが我々にとっては非常に大事な存在なのだとということと、再編関連訓練移転等交付金も非常に有効に使わせていただいているということでお話ししてまいりました。

もちろん北海道防衛局も同じような状況です。沖縄の負担軽減策はどのようになっているのかというお話ししてまいりました。そのようなことで一日過ごしてきたところでございます。上京はしないで文書でもってお願いしたというところでございます。よろしくご理解いただきたいと思っております。

本日は時間もそんなに長くなく、進めてまいりたいと思っておりますので、どうかご協力いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

#### ◇事務局

ありがとうございました。

続きまして、木村総合政策部長からご挨拶申し上げます。

### 3 部長挨拶

#### ◇総合政策部長

皆様どうもお晩でございます。

本日は、お忙しいところこうしてお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様方には常日頃より、市政の推進、並びに新千歳空港や千歳飛行場を巡る様々な課題に対しまして、特段なるご協力をいただいておりますことに、この場をお借りし厚くお礼を申し上げる次第でございます。

後ほど報告事項の中でご説明いたしますが、8月24日から28日まで行われました米軍再編に係る千歳基地への訓練移転につきましては、コロナ禍での訓練でありましたけれども、感染者も確認されず、訓練における事件・事故もなく無事終了したところでございます。

本日はこのほか、航空機部品落下事案や、今ほど会長からお話がありました10月に実施をしました要望活動の結果などについてご説明するほか、協議事項といたしましては、再編関連訓練移転等交付金事業につきまして、ご協議させていただきたいと考えております。

委員の皆様には、大変ご苦勞をおかけすることになりますけれども、どうかよろしくお願申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

#### ◇事務局

この後につきましては、座って進めさせていただきます。

はじめに、事務連絡といたしまして、丹治敏男副会長、星野邦夫副会長、松重委員、米谷委員から本日所用のため欠席との連絡を受けております。また、竹田委員の到着が遅れておりますので報告いたします。

次に、資料の確認をさせていただきます。資料1-1から資料4を事前に配布させていただいて

おりますので、ご確認をお願いいたします。配布漏れなどございましたら、お知らせください。

また、お手元の追加資料ですが、昨日 11 月 18 日付けで第 2 航空団より戦闘機の部品落下事案の通知がございましたので、追加でご報告させていただきます。内容については、後ほどご説明をいたします。

また、新型コロナウイルスの感染症対策として、マスクの着用をお願いするとともに、発言の際に使用するマイクにつきましても、使用者が替わるごとに事務局が除菌シートで拭き取りますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、これからの議事進行につきましては、協議会規約に基づき会長が議長として進めていただきます。会長、よろしくをお願いいたします。

#### ◆会長

それでは、早速ですが、議事に入らせていただきます。

令和 2 年度第 3 回苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催いたします。

報告事項については、ア、イ、ウに分けて説明をし、その都度、ご質問ご意見をお受けしたいと思います。

それでは（1）報告事項アについて、事務局から説明をお願いします。

## 4 議題

### （1）報告事項

#### ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

##### ◇事務局

報告事項アの米軍再編に伴う米軍機訓練移転について、ご説明いたします。

はじめに、①米軍再編訓練に伴う米軍機訓練移転に関する主な経過について、1 ページの資料 1-1 をご覧願います。この表は、前回 8 月 18 日開催の本協議会以降の経過について、記載しております。内容についてはこの後ご説明させていただきます。

次に、②米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練移転に関する報告について、2 ページの資料 1-2 をご覧願います。

こちらは、事前に参考資料として配布させていただいております米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書の一部を抜粋したものでございます。訓練期間につきましては、8 月 24 日から 28 日まで、訓練回数につきましては戦闘機戦闘訓練は 9 回、地上給油訓練は 7 回実施されております。米軍の参加規模につきましては、嘉手納基地所属 F-15 が 6 機、三沢基地所属 F-16 が 6 機で、人員は約 200 名の参加となっております。

下から 2 段目は米軍人の外出状況でございますが、外出はなかったと聞いております。また、訓練期間中の事件・事故等もなく、新型コロナウイルスの感染者も確認されませんでした。

次に 3 ページをご覧願います。こちらは、訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等についてですが、本市については騒音に関する問い合わせが 3 件ございました。

私からの説明は以上でございます。

#### ◇事務局

環境保全課の干谷でございます。私からは、資料1-2の4ページからの訓練移転に伴う騒音測定結果ついてを説明させていただきます。座って説明させていただきます。

5ページをお願いいたします。

こちらは訓練移転に伴う騒音測定地点でございますが、今回は今年度より本格運用を開始した糸井常時監視局を加えて計22カ所で測定を行いました。

次に、6ページの訓練移転時の騒音測定結果でございますが、こちらには苫小牧市、北海道、防衛省の測定から得られました最高値を掲載しております。

訓練期間中の最高値は、米軍機F-15が清流公園で観測されました88.2dBで、米軍機F-16は植苗公園局で観測されました81.8dBでございました。

また、自衛隊機は、植苗南町内会で観測されました87.1dBでございました。いずれの値もこれまでの訓練移転最高値よりも低い値でございました。

次に、7ページ目をお願いいたします。

こちらは訓練期間中の日ごとのLden値を範囲で示したものです。こちらの値は自衛隊機と民航機を合わせた値となっております。右側には令和元年度のLden日最大値を示しております。

訓練期間中で最も大きかった値は、丹治沼局の56dBでしたが、各局ごとに比較しましても、昨年度のLden日最大値よりも、訓練期間中の値が下回っている結果となっております。

最後に8ページでございますが、以上の結果を踏まえた評価としまして、今回の訓練移転における騒音につきましては、測定値及びLden値から見ましても、第2航空団が行っていた通常訓練範囲内であったという結果でございました。私からの説明は以上でございます。

#### ◇事務局

次に、③米軍再編に係る各基地の訓練移転経過につきましては、9ページから13ページの資料1-3で各年度別に載せております。

13ページ中段でございますが、令和2年度はこれまでに2回の訓練移転が実施されております。

14ページにつきましては、米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転に関する訓練計画概要でございます。訓練結果につきましては、九州防衛局及び地元自治体に調査中でございますので、次回の協議会で報告いたします。

次に、④沖縄県の負担軽減調査結果について、15ページの資料1-4をご覧ください。

こちらは、嘉手納飛行場に隣接しております沖縄市、嘉手納町、北谷町から回答を得たものでございます。

照会項目(1)令和元年度の環境基準超過日数でございますが、令和元年度は前年度と比較しますと、各自治体ともに減少しております。

次に、照会項目(2)の令和元年度に嘉手納基地へ飛来した外来機の機数ですが、嘉手納町では

77 機、北谷町では 126 機の飛行を把握しております。

次に、照会項目 (3) の令和元年度の訓練移転実施により、負担が軽減されたと考えるかとの質問に対する主な回答につきましては、沖縄市からは「外来機の飛来や暫定配備による訓練が実施された場合、騒音苦情が増加する傾向にあり、常駐機の訓練移転による負担軽減がなかなか実感できない」、嘉手納町からは「訓練移転の期間中は騒音発生回数などが減少するなど、一定の効果が見られたものの、依然として大きな負担を強いられているため、政府及び関係機関に対し要請を行っている」、北谷町からは「騒音に関する苦情は減少しているが、依然として騒音被害は軽減されていない」との回答がございました。

16 ページから 18 ページには、各自治体の代表的な観測地点における年度別、月別の騒音観測回数と W 値の数値データ及びグラフを、また 19 ページには、嘉手納飛行場における外来機の離着陸等状況を掲載しております。

なお、これまでは、外来機の状況につきまして、機数を掲載しておりましたが、各自治体によって把握している数字が異なりますことから、今後については沖縄防衛局が 24 時間体制で目視により把握をしております離着陸等回数を掲載してまいります。

以上で、説明を終わらせていただきます。

## ◆会長

それではアの報告事項(1)です。報告事項のア、米軍再編に伴う米軍機訓練移転の①米軍再編に伴う米軍機訓練移転に関する主な経過につきまして、何かご質問ございましたらお受けいたします。

これはここにありますように、訓練の騒音は、自衛隊の通常訓練の範囲内に収まっているというところでございますので、これはまずよろしいですね。

それでは、②米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練移転に関するの報告ということで、皆さんからご質問ございましたらお受けいたします。

これは資料の 1-2 ですが、始まる前にだいたい資料を出しておりますから、それとほとんど変わらないということだと思いますので、よろしいですね。

それでは、③米軍再編に係る千歳基地への訓練移転経過につきましては、苦情とか問合せということですが、既に報告されていることでございますのでよろしいですね。

それでは、④沖縄の負担軽減調査結果ですが、こういうことで実感はあまりないのですけれども、少し減っていると報告されておりますが、この辺に関してはいかがでしょうか。

始まる時は、沖縄の負担軽減について、なんとかみんなで少し軽減しないとならないと思い、受け入れたという経過がございますので、なかなか難しいところもあるようでございます。

それではないようですので、イに移りたいと思います。

それでは、イの航空機事故関連につきまして、ご説明お願いいたします。

## イ 航空機事故関連について

### ◇事務局

空港政策課の銅です。私からは、報告事項イの航空機事故関連についての①令和2年度(上期)航空機の部品落下事案についてご説明いたします。

20 ページの資料2 をご覧願います。こちらは、本年4月から9月までの部品落下事案につきまして、10月23日付けで千歳基地から通知されたものでございます。

裏面の21 ページから22 ページをお開き願います。千歳基地における上期分の部品落下事案は6件ございました。こちらのページには、落下部品の部位等や大きさ・形状、また23 ページから24 ページには、そのイラスト及び写真を載せております。

はじめに、21 ページをご覧願います。1 件目につきましては、発生日が6月23日、機種はF-15Jで、落下部品の部位は、ピンやナットなど右エンジンノズルの部品の一部が落下したものでございます。

次に、2 件目につきましては、発生日が8月17日、機種はF-15Jで、落下部品の部位は、クランプと言われる電気配線を固定しているバンド金具の一部が落下したものでございます。

次に、22 ページの3 件目と4 件目につきましては、発生日が8月17日及び9月2日、機種は入間基地所属の輸送機C-1で、落下部品の部位はともに、サーマルディスチャージインジケータで、エンジン用消火器の作動状況を示すプラスチック製の部品でございます。

次に、5 件目につきましては、発生日が9月18日、機種は救難機のU-125A、落下部品の部位は、左エンジンカウル・ラッチスプリングで、エンジンを覆う扉のバネの一部が落下したものでございます。

次に6 件目につきましては、発生日が9月24日、機種はF-15Jで、落下部品の部位は、SRMランチャー・アンビリカルブロック・クイックリリースピンのボールで、電気配線を航空機に固定するための金具を保持するピンのボールが落下したものでございます。

部品落下事案の詳細説明は以上のとおりでございますが、第2航空団からは、全ての部品が着陸後の点検で紛失したことが判明しており、落下場所は特定できておりませんが、現在のところ被害の報告はないと伺っております。

なお、今後の改善策として、原因究明とともに、引き続き、当該部位等の飛行前、飛行後による、入念な安全点検を徹底し、不具合の再発防止に努めてまいりたいとのことでございました。

また、この度の部品落下事案を受けまして、本市では10月30日に第2航空団に直接出向き、同型装備品の整備及び管理の徹底を行うとともに、事故の原因究明及び再発防止策を速やかに行うことなどを強く申し入れております。

次にお手元の追加資料をご覧願います。こちらは昨日11月18日付けで千歳基地から通知されたものでございます。

概要につきましては、11月18日飛行前点検時に、F15Jの左エルロン下部に貼っていた修理ストラップ、長さ約60cm、幅約8cm、厚さ0.6cm、重さ約80gの1枚が、紛失していることが発見されたとのことでございます。

修理ストラップとは、機体外板を補修するもので、機体を補修した後の補強材として貼り付けしているものでございます。

詳しい内容については、現在第2航空団に確認中でございます。

なお、本日第2航空団に対して改めて申入れを行っております。

最後に、資料はございませんが、民航機の部品落下についてご報告いたします。

本年8月、国土交通省から、国際線が多く就航する主要7空港である、成田、羽田、関西、中部、福岡、那覇、新千歳において、昨年度、民航機からの部品欠落が合計928個あったことが公表されました。

国土交通省に問い合わせたところ、新千歳空港で確認された部品欠落はそのうち43個あり、人的及び物的被害の報告はないとの回答があったところでございます。

本市といたしましては、本協議会とともに、国土交通省に対し、航空機の点検整備などの安全管理の徹底について要望を続けるほか、部品欠落事案の具体的な報告についても、求めてまいりたいと考えております。

以上で、報告事項イの説明を終わらせていただきます。

#### ◆会長

はい、それではイの航空機事故関連につきまして、①航空機の部品落下事案をご説明いただきました。何かご質問ございますか。

これは高い空でございますから、軽いものであっても落ちてきて人に当たると非常に危ないものだと思いますので、いつも点検をお願いして、事故がないようにということでやっているわけです。

それから民航機も同じく、結構落ちているようですから、これも点検について事務局からあったように、徹底的にないようにしていただきたいということは、いつもやっているということでございます。ないようですから、次に進んでよろしいですね。

それでは、ウの令和2年度要望活動結果につきまして、お願いいたします。

#### ウ 令和2年度要望活動結果について

##### ◇事務局

報告事項のウ、令和2年度 要望活動結果につきまして、25ページの資料3に基づきご説明いたします。

はじめに、26ページをご覧ください。

今年度の要望活動につきましては、10月19日に千歳・札幌で行い、東京につきましては、首都圏での新型コロナウイルス感染拡大の影響により書面にて行いました。

千歳・札幌には、丹羽会長、星野副会長にご参加をいただいております。日程の詳細につきましては、27ページに記載のとおりでございます。

次に、要望先につきましては、28ページ、29ページをご覧ください。こちらに記載の国会議員

及び、国土交通省、防衛省の関係各位に要望書を提出しております。

千歳・札幌の要望先での対応者につきましては、30 ページのとおりでございます。

次に、要望書につきましては、31 ページから 36 ページのとおりでございます。

次に、37 ページの国土交通省及び北海道エアポート㈱の回答要旨でございますが、要望事項 1 の飛行コースにつきまして、新千歳空港事務所からは、北海道エアポート株式会社と連携して航空会社に対して適切な指導をしていきたいとの回答でございます。

次に、要望事項 2 の運航自粛時間の抑制につきまして、北海道エアポート㈱からは、運航時間帯の繰り上げや遅延便対策などを講じるよう航空会社に対して指導していきたいとの回答でございます。

次に、要望事項 3 の低騒音機種への切替えにつきまして、新千歳空港事務所からは、従来どおり固定資産税の減免等の支援を行うとともに、今後も航空会社に対して、低騒音機の導入を推進していきたい、また北海道エアポート㈱からは、来年度から騒音を組み込む新しい料金システムを検討しているとの回答でございます。

次に、要望事項 4 の外国貨物機の騒音軽減につきまして、新千歳空港事務所からは現在、国内線及び国際線については、貨物専用機の定期便運航はないが、今後飛行計画が策定されたときは、航空会社に対して指導監督を適切に実施してまいりたいとの回答でございます。

次に、要望事項 5 の航空機等の安全管理の徹底、また、航空機事故に関する情報提供につきまして、新千歳空港事務所からは、安全運航の確保が最重要課題と認識している。今後とも、安全運航の確保に万全を期して、皆様の安全・安心に対する信頼を得られるように努めていきたいとの回答でございます。

なお、国土交通省航空局及び東京航空局も同様の回答となっております。

次に、38 ページをお開き願います。要望事項には載せておりませんが、美沢川の水質問題について伺っており、北海道エアポート㈱からは、航空局から過去の経緯を継承しているので、今後も確実に遂行するよう実施してまいりたいとの回答でございます。

続きまして、防衛省の回答要旨でございますが、39 ページをご覧ください。要望事項 1 の市街地上空の低空飛行につきまして、第 2 航空団からは、飛行訓練については、航空法等を遵守して行っている。他の基地から来たパイロットに対してもブリーフィングなどで、教育指導を行っており、今後も安全飛行を念頭に置き、市街地上空の低空飛行を回避するよう配慮していくとの回答でございます。

次に、要望事項 2 の通常訓練の離着陸コースにつきまして、第 2 航空団からは、可能な限り騒音の軽減に配慮していくが、天候の状況等により、安全確保のため雲を避けるなどの飛行をすることがあることをご理解願いたいとの回答でございます。

次に、要望事項 3 の運航自粛時間における飛行につきまして、第 2 航空団からは、深夜・早朝の飛行訓練は自粛しているが、緊急発進や災害派遣等により、飛行する必要があることをご理解願いたい。」との回答でございます。

次に、要望事項 4 の土日祝日の飛行につきまして、第 2 航空団からは、通常の飛行訓練では、

土日祝日は計画していないが、上級部隊が計画する演習等については、一部、土日等に飛行する場所があるのでご理解願いたいとの回答でございます。

次に、40 ページをご覧ください。要望事項 5 の航空機等の安全管理の徹底、また、航空機事故に関する情報提供でございますが、第 2 航空団からは、平素より定期的な整備、飛行前後の点検等を実施している。引き続き、安全確保を強化していく、万が一事故等が発生した場合は、苫小牧市への速やかな情報提供に努めたいとの回答でございます。

次に、要望事項には載せておりませんが、沖縄の負担軽減について伺っており、北海道防衛局からは今後も米側に対し、飛行場周辺の騒音軽減が図れるよう一層の協力を求めるとともに訓練移転を積み重ねるなど、可能な限り沖縄の負担軽減に努めたいとのことでございます。

続いて、44 ページをご覧ください。こちらは今回の千歳基地への訓練移転の際に、北海道防衛局から提供がありました、グアム等への訓練移転の実施期間中における嘉手納飛行場での騒音測定値等を比較したものです。

市といたしましては、今後も目に見える形の検証を要望するほか、米軍外来機における飛来訓練等の抑制など、沖縄の方々が負担を実感できるよう求めてまいります。

続きまして、防衛省の住宅防音助成に関することでございます。41 ページをご覧ください。北海道防衛局からは、75W 未満の取扱いについては、住宅防音事業の今後のあり方に関わる課題で、全国の住宅防音事業の進捗状況等を踏まえ、今後の検討課題と考えているとの回答でございます。

次の 42 ページから 44 ページまでは、要望活動の際の主な質問に対する回答をまとめたものがございますので、後ほどご参照願います。

以上が要望結果でございますが、今回の要望活動につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての実施となりましたが、騒音の実態やコロナ禍における新千歳空港への影響などについて、地域の考えをしっかりと伝え、認識を共有することができたと感じております。

各要望項目につきましては、航空機の運用や騒音対策に関するものが多く、すぐには解決できない問題ではないため、今後においても粘り強く働きかけてまいりたいと考えております。

以上で、令和 2 年度の要望活動結果の報告とさせていただきます。

## ◆会長

それでは、ウの令和 2 年度要望活動結果につきまして、資料の説明をいたしました。何か、ご意見ご質問等、ございましたらお伺いいたします。

いつもだいたい同じ内容で、先ほど申し上げましたようにやっているわけですが、継続は力なりということで、これからも事務局が申し上げましたように、継続してやったら良いなとそういうことは思っているところでございます。それではないようですので、次に進んでよろしいでしょうか。

## ◆会長

それでは次に(2)協議事項、ア令和2年及び3年度再編関連訓練移転等交付金事業につきまして、お願いいたします。

### (2) 協議事項

#### ア 令和2・3年度再編関連訓練移転等交付金事業について

##### ◇事務局

それでは(2)協議事項のア、令和2年度・3年度再編関連訓練移転等交付金事業につきまして、45ページの資料4に基づきご説明いたします。

はじめに、令和2年度の事業案をご覧願います。

白塗りの事業につきましては、昨年11月の本協議会においてご承認いただきました、現在実施中の事業でございますが、その中で交付金額に変更があったものについてご説明いたします。

植苗地区の1段目、植苗小中学校備品整備事業につきましては、令和3年4月の特別支援学級開設に伴い、テレビやブルーレイレコーダーなどの備品購入で120万円の増、2段目、植苗ファミリーセンタースポーツ器具等整備事業につきましては、220万円の減、3段目、植苗児童クラブ整備事業につきましては200万円の減となっております。

次に、沼ノ端地区の2段目、沼ノ端北9号公園整備事業につきましては、30万円の減、ウトナイ中学校備品整備事業につきましては、授業で使用する卓球台や液晶プロジェクターなどの購入で360万円の増となっております。

最後に共通の夜間・休日急病センター等医療機器整備事業につきましては、夜間・休日急病センターのX線撮影装置や、保健センターの超音波診断装置などの購入で700万円の増となっております。

それでは、本日ご提案させていただく網掛けの事業につきまして、ご説明させていただきます。

共通の市立病院医療機器整備事業につきましては、各事業の入札差金等の最終調整として、新型コロナウイルス感染症に関連する医療機器の購入を予定しております。

以上が、令和2年度の事業案でございます。これらの事業につきましてご承認いただけましたら、今後、早急に進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、裏面46ページをご覧願います。

こちらは、令和3年度の事業案でございます。

はじめに、植苗・美沢地区の1段目、除雪車両整備事業につきましては、老朽化している植苗・美沢地区専用の除雪車両の更新を予定しており、交付金額は5千万円となっております。

次に、2段目の星ヶ丘13号線他1線改良舗装工事につきましては、植苗道営住宅周辺道路の改良舗装工事に伴う実施設計を予定しており、交付金額は630万円となっております。

次に、沼ノ端地区の1段目、東開町防火水槽新設工事につきましては、東開町にある沼ノ端南5号公園に防火水槽の設置を予定しており、交付金額は2千万円となっております。

2段目のウトナイ・青翔中学校備品事業につきましては、ウトナイ中学校には学校祭等で使用

する照明器具や黒板に貼る磁石式のスクリーンなど、また青翔中学校には、校舎増築に伴い、ピアノやコピー機などの購入を予定しており、交付金額は1千260万円となっております。

次に3段目の小中学校蓄電器整備事業につきましては、沼ノ端中学校、青翔中学校、ウトナイ中学校、拓勇小学校の4か所の避難所に蓄電器の整備を予定しており、交付金額は900万円となっております。

次に、勇払地区の勇払公民館火災受信機等整備事業につきましては、老朽化したアナログの火災受信機をデジタルに更新するほか、体育館床面のライン引き直しなどを予定しており、交付金額は1千210万円となっております。

次に、三地区含む共通の小中学校図書整備事業につきましては、令和2年度と同様、小中学校における図書整備でございます。交付金につきましては、1千万円となっております。

最後に共通でございますが、入札差金等の最終調整弁としているため、金額は記載しておりませんが、市立病院医療機器整備事業を予定しております。

令和3年度の再編関連訓練移転等交付金につきましては、資料下段の黒枠のとおり、1億3千万円と見込んでおりますが、現時点で全体の交付金額が未確定であることから、交付金の合計額を1億2千万円で計上しております。

この差額分及び見込み金額を上回る交付金が交付された場合については、資料下段のその他検討事業で実施してまいりたいと考えております。

はじめに、植苗地区の植苗小中学校前歩道整備事業につきましては、植苗小中学校前の傷んだ歩道の改修を検討しております。計画や事業費等については、現在調査中でございますので、検討事業に入れさせていただきます。内容が固まり次第、整備したいと考えております。

次に勇払地区の勇払小中学校教育環境整備事業につきましては、コロナ禍で教育現場でも情報通信技術、いわゆるICT化の必要性が求められていることから、テレビや電子黒板などの備品購入を検討しております。

最後に共通枠については、保健センター等医療機器整備事業でございますが、血圧脈派検査装置等の医療機器の更新を検討しております。

なお、これらの事業につきまして、取り急ぎ着手する場合には、会長、副会長へ相談して事業を進めさせていただきたいと考えております。

以上が令和3年度の事業案でございます。これらの事業につきまして、ご承認いただけましたら、今後進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

私からは以上でございます。

#### ◆会長

それでは(2)協議事項ア、令和2年及び3年度再編関連訓練移転等交付金事業につきまして、説明をしていただきました。何か、ご質問ご意見ございましたらお受けいたします。

今年の方は、結構大きく増えておまして1億7千万円ございました。

よろしいでしょうか。A委員どうぞ。

#### ◆A委員

まず、この最後のページですが、1億3千万円以下ということはないでしょうから、増えると思うのですが、下の3つをどういう優先順位で行おうとしているのでしょうか。

個人的には一番下が最初に優先かなと思っているのですがね。多分1億3千万円以下ということはないかなと思って質問です。

#### ◆会長

事務局お願いします。

#### ◇事務局

ご質問ありがとうございます。我々1億3千万円で来年度の交付金を見込んでおまして、事業費は1億2千万円で組んでいるところでございますけれども、先程もご説明しましたとおり、来年度、増えるのか減るのか、訓練があれば増えていくでしょうし、まだ先が見通せないところで、1億3千万円ということで、減ることはないと私どもは思っておりますけれども、いくら増えるのかとそういったところは、今の段階で見通せない状況でございます。

優先順位をどのようにということですが、そちらの金額を見ながら、最終的な金額がいくらくらいになりそうなのか、段々見えてきた中で、例えば植苗ですと歩道整備の事業費を積算中でして、勇払小中学校の備品整備につきましても、精査中でございます。保健センターも同様でございます。使える金額とそれぞれの整備内容が固まった段階で、この事業ということでやらせていただきたいと思っております。

今、委員がおっしゃるとおりコロナ禍で、保健センター医療機器の優先順位が高いのではないかとこのところで、ご意見として賜りますが、そのような形でバランスを見ながら、検討させていただきたいと思っております。以上です。

#### ◆会長

よろしいでしょうか。ほかに何がございましたら、ご意見お受けしますが、いかがでしょうか。はい、B委員どうぞ。

#### ◆B委員

植苗小中学校前の歩道整備、早く実行していただきたい。来年の年明け早々、5月くらいには。そうでないと非常に環境的に良くないものですから。

それと、植苗ファミリーセンター前、あの辺も傷んでいるところもあるので、整備していただきたいと思っております。以上です。

#### ◆会長

はい、事務局。

#### ◇事務局

ご質問ありがとうございます。B委員からお話がありました歩道の整備につきましては、今積算しております。

この事業につきましては、再編関連訓練移転等交付金事業の検討事業に載せておりますけれども、例えば別の防衛交付金であったり、あるいはこういった交付金を使わないで、一般財源でやる方法もございますので、今、担当課の方でいくらかかるのかというところをやっております。

できるだけ早くということでございますので、それを見ながら、対応させていただきたいと考えております。

再編関連訓練移転等交付金を使う使わないに限らず、状況を見ながらやらせていただきたいと思いますと思っております。以上でございます。

#### ◆会長

どちらにしましても進めるということですが、よろしいですね。

はい。あとは何かございますでしょうか。B委員どうぞ。

#### ◆B委員

我々、飛行場に一番近い町内会としては、やはり住んだ以上は宿命だと思って、全てに我慢をしております。その辺をやはり役人の方々も心して、やはり植苗・美沢地区に対する考え方を改めていていただきたいなどそのように考えて本日は出てきております。よろしく願いいたします。

#### ◆会長

それではほかに何かございましたら、お受けいたしますが、よろしいでしょうか。

それでは、5番目その他の項目で、事務局から何かございましたらお願いいたします。

B委員さんどうぞ。

#### ◆B委員

私はこの歳になったから、このようなことを申し上げたいですけれども、昔、苫小牧地区は30万都市構想で始めたものが、今は15万都市構想で、丁度半分なことを言っております。ですけれども、IRなどを含めて、何とか20万の人口を維持するように、役所の方も、市議員の方も、地域に住む市民も、小さくするより大きくすることを考えていただきたいと思いますと思っております。

以上です。

#### ◆会長

それではその他にございまして、皆さんよろしいでしょうか。

A委員どうぞ。

## ◆A委員

素朴な質問とお願いでございます。項目で言えばよかったですでしょうけれども、先ず再編の訓練です。

今、コロナが急になくなるとは思えないのです。これは作戦上で言えないのが一番気に入らないのですが、宿泊したホテルもわからない。どこに泊まっていたかもわからない。何個のホテルに泊まっていたのかもわからない。例えばそこでコロナが出た場合、どういう感染経路を辿るのか、苫小牧市はどのようにまとめられているのかをお聞きしたいと思っております。

200人が移動してきて、実際には沖縄でも米軍の感染者が出たのは聞いておりましたけれども、事前にはないのだということで入って来ましたが、コロナが収束の方向にはまだ向かっておりませんので、今後あるのかなと思っております。

それでその対応も考えられたら良いのかなと思っております。出た場合は訓練を中止するのか、どうするのか。どこに泊まっているのかも今回の場合はわからなかったと聞いておりますので、そこら辺もよろしくお聞きしたいと思っております。

もう一つは、この部品落下の民航機です。落下だけではなくて、これを報告していただけるのであれば、緊急着陸で新千歳空港に何便戻ってきているのか、必ずあると思うのです。そういうのは報道でも見ます。決して良いことではないのですけれども、安全面で緊急着陸はしているとは思いますが、それもできればデータ化されたいのかなと思っております。

もう一つは、音だけで言うのはあれなのですが、ほかの委員さんも言われておりますけれども、今の新しい政府専用機も訓練ということですから、どこのコースを飛んでも良いことだそうです。ですけれども、日中あまりにもコースを逸脱していること、私はいかがなものかなと常々見ているのです。訓練だということで防衛省管轄ですから、どこ飛んでも良いとなっているようですけれども、ただこの上空を横断して飛ぶのはいかがなものかという感じで見ておりました。これも要望できないのかもしれませんが、航路下にいる住民は若干不安を感じるという部分でおります。以上です。

## ◆会長

事務局、今3点ほどございましたがお願いします。

## ◇事務局

ご質問ありがとうございます。まず米軍再編訓練の件でございます。今回コロナ禍ということで、米軍人がホテルに宿泊をしたということで、我々もホテルはどこなのか北海道防衛局に求めたところ、回答といたしましては、宿泊先はセキュリティーに関する事なので、公表は差し控えさせていただくというお答えでございます。これはブリーフィングでも同じようなことをお尋ねしたのですけれども、同じ回答でございました。

実際にコロナが出た場合の対応につきましても、これも我々の方で聞いておまして、これはブリーフィングの際なのですけれども、米軍の医療担当者が同行して、米軍、自衛隊の双方にお

いて、所用の医療・衛生体制を構築して、公衆衛生の観点から日米間の合意に基づいて、米軍の医療機関と保健所との間で感染者の行動履歴の追跡など、必要な情報共有を行って感染拡大防止のために緊密連携していくという回答があったところでございます。

いずれにしましても、コロナ感染者が確認された場合は、必要な処置をとって、隔離をするなどの措置は取られるという回答は得られておりました。

2点目は部品落下の件でございます。民航機の分ということでございます。今回ご報告させていただきましても、令和元年度、928件中、新千歳空港分が43個の部品欠落が発見されたということで、これは新千歳空港に到着後の点検でわかったものが43個あったということでございます。

我々はこの件に関しましても、要望の際にもエアラインに対して今後も求めてまいりたいと思っています。

あと緊急着陸のお話がありました。緊急着陸につきましては、新千歳空港における民航機の引き返し、新千歳空港を飛び立ったのですけれども、何らかの理由で新千歳空港に引き返したということと、あとは目的外空港の着陸と言いまして、例えば、旭川から羽田に向かう途中で何かあって新千歳空港に着陸した件数があるのかということをお新千歳空港事務所に確認をいたしました。

令和元年度の方でございますけれども、機材不具合による引き返しが6件あったということで伺っております。また、機材不具合による新千歳空港への目的の変更というのが、これが3件あったということで、令和元年度に関しては、こういった着陸の件数が合計9件あったと伺っております。

3点目でございますけれども、政府専用機でございます。我々も市役所の中にいると、民航機が普段通らないようなところを政府専用機が飛んで、市役所の真上を結構近く見える位で飛んでいって、また千歳飛行場に戻ってタッチアンドゴーをするのですとか、そういう訓練を常時やっているのを私どもも見ております。確かに住民の皆様にとれば、頻りに違うルートを通るといのは、やはり不安に思うことは当然のことだと思いますので、こちらの件につきましても、要望活動の際に第2航空団、北海道防衛局等にそのルートの改善等、今後求めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。私からは以上です。

#### ◇事務局

まちづくり推進室柴田と申します。今、A委員から、緊急着陸の関係でこれまでもご質問をいただいていたと思っておりますけれども、課長の方から報告いたしましたので、今後の協議会で、これを数字で出せるように工夫をして、今後の資料として出せるように考えてまいりたいと思っております。以上です。

#### ◆会長

A委員よろしいでしょうか。

他に何かございましたら、お受けいたしますが、よろしいでしょうか。

それではないようですので、その他につきまして終了させていただきます。これで全て本日の案件は終了ということでございます。

どうも皆様ありがとうございます。コロナ禍でございますので、このあたりで終わらせていただければ大変ありがたいと思っております。今後ともどうかひとつよろしく願いいたします。

あと1ヶ月と10日で今年が終わりますが、どうか皆様、健康に気を付けてですね、良い年をお迎えいただければと願っております。

ありがとうございました。